



第21回 熊本県立教育センター研究発表会

夢の実現に向けて能動的に学び続ける児童生徒の育成

～未来の創り手に必要な資質・能力の育成を目指して～

配信期間 令和3年（2021年）2月19日（金）から

令和3年（2021年）3月8日（月）まで



本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めて熊本県立教育センターのホームページ上で開催します。このような困難な時期だからこそ、オンラインでの開催によって、全ての先生方の学びを保障する機会を設けたいと考えました。より多くの先生方に、いつでもご参加いただけるよう、特別講演、研究協力員等との共同研究の成果等を動画配信します。本年度の振り返りや来年度の方向性の検討に役立つ内容を準備中です。それぞれの夢の実現に向けて、能動的に学び続ける児童生徒を育てるために、私たち教職員、学校に求められていることは何でしょうか。ぜひ、一緒に考えましょう。

熊本県立教育センター所長挨拶

研究概要説明

特別講演 国の教育改革の大きな柱となられている先生方の貴重な講演です！

「能動的に学び続ける児童生徒を育てる

『深い学び』の実現に向けて」（仮）

國學院大学 人間開発学部

教授 田村 学 氏

昭和61年から新潟県公立小学校、上越教育大学附属小学校で教諭。新潟県柏崎市教育委員会指導主事を経て、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官・国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官。平成27年4月から文部科学省初等中等教育局視学官として学習指導要領改訂に携わる。平成29年から現職。研究分野は、教科教育学（生活・総合的な学習の時間）、教育方法学、カリキュラム論。

現在、文部科学省で視学委員、カリキュラム・マネジメントアドバイザー等を務めるとともに、日本生活科・総合的学習教育学会の副会長でもある。



「子どもを主語とする学校に」（仮）

関西国際大学 基盤教育機構

教授 荒瀬 克己 氏

京都市立堀川高等学校校長、京都市教育委員会教育企画監、大谷大学文学部教授を経て現職。専門は、言語技術、コミュニケーション、国語教育、キャリア教育、学校経営。

京都市立堀川高等学校校長時代の著書に自身の教育論を語った『奇跡と呼ばれた学校』がある。

現在、兵庫教育大学理事、福井大学教職大学院客員教授、京都市教育委員会指導部顧問等を務めるとともに、中央教育審議会初等中等教育分科会の会長でもある。



新学習指導要領についてもっと理解したいこと、授業づくりで悩んでおられることなど、講師の先生方への質問を募集します。詳細は、熊本県立教育センターのホームページをご覧ください。

研究協力員等との共同研究 研究協力員等の先生方との研究・実践について説明します！

小学校 国語、算数、理科、図画工作、道徳、カリキュラム・マネジメント

中学校 国語、社会、数学、理科、音楽、保健体育、技術・家庭（技術分野）、外国語（英語）、カリキュラム・マネジメント

義務教育学校 情報教育

高等学校 国語、地歴公民、数学、理科、保健体育、家庭、外国語（英語）、キャリア教育

特別支援学校 特別支援教育



動画の視聴には、熊本県立教育センターホームページからの参加申込みが必要です。質問、参加申込みは、令和2年（2020年）12月21日（月）から受け付けます。研究発表会の情報はホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

